

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1990100891
法人名	ツクイホールディングス
事業所名	ツクイ甲府富士見グループホーム
所在地	山梨県甲府市富士見2-2-26
自己評価作成日	令和 4 年 1 月 12 日
評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
聞き取り調査日	令和 4 年 2 月 21 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「常にお客様の立場に立ち心地よい暮らしのサポートをいたします」を理念とし、職員一同お客様の立場にたった支援を心掛けております。調理・盛り付け、食器洗い・食器拭き・洗濯・掃除などできることを行っていただき役割を持ち活き活きと生活いただけるよう支援させていただきます。1日に1回は外の空気にふれていただけるよう、お散歩・外気浴を楽しんでいただいております。その中で地域の方と挨拶を交わし交流を深めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の立場に立って心地よい暮らしのサポートを支援されてきました。毎日の外気浴を心がけ、「閉じ込められた感」を感じないケアをされています。掃除を一緒にする、食事の関わりを多くする、手作り食のうどんやパンを一緒に作る等、職員がやるのではなく「できることを行う」ケアを大切にされ、自身の存在意義を高めていただき生きがいにつながるケアを目指していました。開所されて1年程ですが地域との関わりも検討されています。近くの河川の堤防で散歩をして地域の方との関わりを深めています。コロナ禍でもできることを積極的に行い介護と医療の連携を図り24時間365日の安心体制を整え、家族の希望による看取りケアの取り組みもされていました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員2/3くらいが 3. 職員1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入職前より事業所の理念をお伝えし、理解をいただいている。理念を基本にし統一したサービス提供に努めている。	入職前より事業所の理念をお伝えし、理解をいただいている。理念を基本にし統一したサービス提供に努めている。	入職時に研修を行い理念の理解を行っていました。運営規定にも利用者の自律に目指し地域において共同して日常生活ができることと記載され、利用者に沿ったサービスの提供に努めると、職員に周知されました。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	毎日お散歩に出かけ、地域の方や保育園の子供達とあいさつを交わし交流をしている。コロナの影響があり制限が多く密な交流はできていない。	毎日お散歩に出かけ、地域の方や保育園の子供達とあいさつを交わし交流をしている。コロナの影響があり制限が多く密な交流はできていない。	開所されて1年程ですが地域交流として家族会や地域の方を招いて夏祭り等イベントを企画し、積極的な関わりを計画していましたが、コロナ禍で感染対策の為実施されていません。地域の方には花壇に花を植えるに来てくださる方もいます。建物には地域との交流を図るため交流棟が併設され地域の会議に活用されていました。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会長や民生委員・地域住民へ向けて認知症対応型施設である理解をしていただく機会を設けている。現在はコロナウイルス感染予防により、地域との交流ができていない。	自治会長や民生委員・地域住民へ向けて認知症対応型施設である理解をしていただく機会を設けている。現在はコロナウイルス感染予防により、地域との交流ができていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナ感染予防のため、書面開催を行っている。アンケートを実施し意見をいただき運営に反映している。	新型コロナ感染予防のため、書面開催を行っている。アンケートを実施し意見をいただき運営に反映している。	運営会議は住民代表、自治会長、利用者、家族、行政、施設関係者で構成されています。会議は初回の開催ができましたが、感染予防のため2か月に1回、書面開催になっています。内容は活動・実施報告、アンケートによる質問の検討と報告がされていました。災害時の食料の備蓄量や地域交流の予定の質問があり、検討・報告がされていました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月、利用者及び待機者の報告をしている。運営についての相談や、事故の報告をおこなっておりサポートしていただいている。	毎月、利用者及び待機者の報告をしている。運営についての相談や、事故の報告をおこなっておりサポートしていただいている。	行政との連携は利用者の状況や事故報告がされていました。また待機者の状況報告が行われていました。担当者とは電話や書面にて相談し、アドバイスを受けていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に1度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っている。事例検討会や、会社のテキストによる学習会も実施している。身体拘束禁止に関する指針を事業所内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みを行っている。	2か月に1度身体拘束廃止委員会を開催しており、話し合いを行っている。事例検討会や、会社のテキストによる学習会も実施している。身体拘束禁止に関する指針を事業所内に掲示し職員への周知と意識を高める取り組みを行っている。	運営規定、重要事項説明書にもきちんと記載されています。会社指針が事務所入口に掲示され職員が常に把握出来るようになっていました。特に内容には、過剰な対応、行動、言葉の規制、スタッフの都合で支援しない等を掲げ、できないではなく、できる事を支援するようにしました。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	上記と同様に虐待防止についても2か月に1度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みを行っている。	上記と同様に虐待防止についても2か月に1度話し合いを行い、職員への意識向上への取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修をおこない知識を深め、活用できるようにしていきたい。	研修をおこない知識を深め、活用できるようにしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時・退去時にはご家族に十分に説明を行い、理解して頂いております。	契約時・退去時にはご家族に十分に説明を行い、理解して頂いております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。また契約時には市町村、国保連の相談窓口のご案内をしている。当事業所において直接要望を伝えていただけるような関係性作りにつとめている。	苦情相談窓口を本社・事業所に設けております。また契約時には市町村、国保連の相談窓口のご案内をしている。当事業所において直接要望を伝えていただけるような関係性作りにつとめている。	運営規定にも明記されていますが、相談窓口の案内もされていました。苦情に対しては、ミーティングや連絡ノートを活用し、情報の共有を行い職員の周知にも力を入れていました。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティング時に意見や提案を出せるよう一人一人が発言できる環境づくりをしている。提案や意見を反映したケアができるよう取り組んでいる。	毎月のミーティング時に意見や提案を出せるよう一人一人が発言できる環境づくりをしている。提案や意見を反映したケアができるよう取り組んでいる。	ミーティング時に職員の意見や提案を反映していました。年1回の職員面接を行い意見を聞く、管理職からの声掛けを行い意見をケアに繋げる体制を作っていました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ライフスタイルにあわせた勤務時間帯や勤務日を考慮しシフト作成を行っている。資格手当の支給や資格取得に関するサポート制度があり、向上心を持ち勤務できるように努めている。	ライフスタイルにあわせた勤務時間帯や勤務日を考慮しシフト作成を行っている。資格手当の支給や資格取得に関するサポート制度があり、向上心を持ち勤務できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修・行政の研修の案内を職員に周知し、受講できるように努めている。また事業所内においては会社の資料を参考に月1回職員全員で研修を行っている。	社内外の研修・行政の研修の案内を職員に周知し、受講できるように努めている。また事業所内においては会社の資料を参考に月1回職員全員で研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他社と合同説明会を開催、運営推進会議に参加いただいている。情報収集や共有をしている。他社との合同作品展をおこない交流を深めている。(コロナ感染防止のため中止)	他社と合同説明会を開催、運営推進会議に参加いただいている。情報収集や共有をしている。他社との合同作品展をおこない交流を深めている。(コロナ感染防止のため中止)		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員がご自宅や施設へ伺い、ご本人やご家族から希望や困っていることなどのニーズの抽出をおこなっています。不安なく過ごしていただけるよう、職員が寄り添い援助しております。	職員がご自宅や施設へ伺い、ご本人やご家族から希望や困っていることなどのニーズの抽出をおこなっています。不安なく過ごしていただけるよう、職員が寄り添い援助しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族の思いや希望を伺い思いに添えるように努めています。入居されてからもこまめな連絡や日々のご様子を報告している。特に入居された翌日には、ご家族へ夜間等の様子をお伝えしている。	入居前にご家族の思いや希望を伺い思いに添えるように努めています。入居されてからもこまめな連絡や日々のご様子を報告している。特に入居された翌日には、ご家族へ夜間等の様子をお伝えしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族との情報の中から支援が必要な部分の見極めやご自身でできる事・行っていることは継続していただき、グループホームでできることを増やせるような支援を行っています。	ご本人・ご家族との情報の中から支援が必要な部分の見極めやご自身でできる事・行っていることは継続していただき、グループホームでできることを増やせるような支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中の掃除・洗濯・調理・散歩などできることを一緒にに行い、コミュニケーションを図っている。	生活の中の掃除・洗濯・調理・散歩などできることを一緒にに行い、コミュニケーションを図っている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時にはご家族の時間を大切にいただいている。コロナ感染防止のため面会を自粛させていただいた際は電話でお話をさせていただいた。特に密に日ごろの様子をお伝えしている。毎月写真付きのお手紙をお出しの様子を伝えている。	面会時にはご家族の時間を大切にいただいている。コロナ感染防止のため面会を自粛させていただいた際は電話でお話をさせていただいた。特に密に日ごろの様子をお伝えしている。毎月写真付きのお手紙をお出しの様子を伝えている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会をしていただいている。コロナ感染防止のため外出はできていない。	馴染みの方の面会をしていただいている。コロナ感染防止のため外出はできていない。	馴染みの人や家族とは、感染予防から窓越しの面会を行っていました。リモート面会も検討され実施できる体制を整えていました。家族と週に1回は電話ができて利用する方もいました。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様が孤立せず、良好な関係を保てるように職員が関わり合いを持ちながらコミュニケーションをとっています。	入居者様が孤立せず、良好な関係を保てるように職員が関わり合いを持ちながらコミュニケーションをとっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方に関してもご家族様からの地域の相談窓口として関係性を大切にしています。退去後も状況の確認をおこなっている	退去された方に関してもご家族様からの地域の相談窓口として関係性を大切にしています。退去後も状況の確認をおこなっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成担当者によるモニタリングをもとに、職員全員で共有・把握に努めています。カンファレンスの際には生活の中で見えてくるものを全体で検討・把握している。	計画作成担当者によるモニタリングをもとに、職員全員で共有・把握に努めています。カンファレンスの際には生活の中で見えてくるものを全体で検討・把握している。	思いや意向は、普段の支援からくみ取られたり、家族からの聞き取りを行い、毎月行っているカンファレンスで検討され職員に周知されていました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時に生活歴などをご家族・ご本人・居宅CMより情報を頂き、収集しています。入居後にはご本人様より会話の中から理解を深めています。	初回面談時に生活歴などをご家族・ご本人・居宅CMより情報を頂き、収集しています。入居後にはご本人様より会話の中から理解を深めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日を通しての様子や行動の把握を行い、情報共有を行っている。職員ミーティングで情報交換・共有をしている。	1日を通しての様子や行動の把握を行い、情報共有を行っている。職員ミーティングで情報交換・共有をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者とユニットリーダーを中心に3か月ごとのモニタリング時にご家族・ご本人様の意思を尊重しながら職員間で検討を行います。ご本人ご家族の思いを尊重している。	計画作成担当者とユニットリーダーを中心に3か月ごとのモニタリング時にご家族・ご本人様の意思を尊重しながら職員間で検討を行います。ご本人ご家族の思いを尊重している。	介護計画やモニタリングは、日常の関わりや話の内容から探り、カンファレンスで検討し、プランの見直しに活用されています。計画は本人・家族を尊重した計画が立てられていました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別のケアプランに沿った記録を残している。モニタリング時やカンファレンスの振り返り時に参考にしている。	毎日、個別のケアプランに沿った記録を残している。モニタリング時やカンファレンスの振り返り時に参考にしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイサービス・福祉用具などと連携しご本人のニーズに対応できるよう取り組んでいる。	デイサービス・福祉用具などと連携しご本人のニーズに対応できるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方から、絵画をお借りし鑑賞している。お花をいたき生け花や水やりなどを楽しんでいる。	地域の方から、絵画をお借りし鑑賞している。お花をいたき生け花や水やりなどを楽しんでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の希望に沿って受診をおこなっている。その際には、日ごろの様子などをお伝えしている。	ご本人・ご家族の希望に沿って受診をおこなっている。その際には、日ごろの様子などをお伝えしている。	かかりつけ医等の通院は、家族の付き添いが原則ですが入所時の話し合いやコロナ禍のため職員が対応していました。受診後は家族に報告し、情報の共有がされていました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・内服薬に関する相談。排泄・食事の状況についての相談を行っています。容態の急変時には緊急対応の対応をして頂き、オンコール体制を整えている。	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理を行っています。バイタルチェック・内服薬に関する相談。排泄・食事の状況についての相談を行っています。容態の急変時には緊急対応の対応をして頂き、オンコール体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には、同行し情報提供をしている。入院中の経過は、電話で連携室や看護師・ご家族に伺い経過を把握している。退院時にはサマリを頂き、GHで安全に過ごせるようにしている。	入院時には、同行し情報提供をしている。入院中の経過は、電話で連携室や看護師・ご家族に伺い経過を把握している。退院時にはサマリを頂き、GHで安全に過ごせるようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合のGHの対応について、ご家族へ説明し同意を得ている。日頃より、かかりつけ医・ご家族様と連携を図っている。	契約時に重度化した場合のGHの対応について、ご家族へ説明し同意を得ている。日頃より、かかりつけ医・ご家族様と連携を図っている。	入所時にグループホームの対応を説明し、同意を得ていました。現在は対象者がいませんが看取りも行っていきます。必要に応じた訪問診療や他事業所(デイサービス)に看護職員がおり毎日の健康管理表のチェックを行っていました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	営業所内で行う研修や看護師からの指導をおこなっている。緊急時の連絡先やフローを掲示している。	営業所内で行う研修や看護師からの指導をおこなっている。緊急時の連絡先やフローを掲示している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震・火災を想定した訓練を年二回行っている。日中・夜間想定をおこなっている。	地震・火災を想定した訓練を年二回行っている。日中・夜間想定をおこなっている。	災害訓練は、年2回実施されていますが、近くに河川があり、避難場所の確認や地域訓練への参加の検討を行っていました。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様を尊重することを念頭におき、言葉がけ言葉使いに職員全員で気をつけている。	入居者様を尊重することを念頭におき、言葉がけ言葉使いに職員全員で気をつけている。	利用者の立場に立ち、心地良い暮らしのサポートに心がけていました。共同生活の中でも困難なことは職員がサポートしますが、できることは職員が見守るとしてました。	

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の意思を尊重するケアに努めている。ご入居者様が自己決定できるような支援を心がけている。	ご本人の意思を尊重するケアに努めている。ご入居者様が自己決定できるような支援を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご本人のペースで生活して頂けるように、支援している。お休みの時間などご本人に確認しながら支援している。	ご本人のペースで生活して頂けるように、支援している。お休みの時間などご本人に確認しながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度美容師が来所している。ご本人の希望を尊重している。外出時には好きな洋服を選んでいただき口紅を塗るなど支援している。	2か月に1度美容師が来所している。ご本人の希望を尊重している。外出時には好きな洋服を選んでいただき口紅を塗るなど支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お食事時には、盛り付けや調理をお手伝いしていただいている。食器の片づけ・食器洗い・食器拭きを一緒にしていただいている。うどん作りや餃子作りなどリクエストを伺い楽しんでいただいている。	お食事時には、盛り付けや調理をお手伝いしていただいている。食器の片づけ・食器洗い・食器拭きを一緒にしていただいている。うどん作りや餃子作りなどリクエストを伺い楽しんでいただいている。	楽しい食事は、ユニットごとで調理され、利用者も積極的に関わっています。朝食は選択でき、週2回洋食・和食の希望ができます。外食や行事食も行われていましたがコロナ禍のため、利用者の希望により、出前の寿司やうどん等のテイクアウトも行っていました。利用者とパンやうどん作りも行っていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事量・水分量を記入し把握している。個々に合わせた食事形態での提供を行っている。常食・ソフト食で提供している。	個々の食事量・水分量を記入し把握している。個々に合わせた食事形態での提供を行っている。その時の状況に合わせ形態を変え支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後歯磨きをして頂くように口腔ケアの支援をおこなっている。必要のある方は歯科医と連携し定期的なケアを行っている。	食後歯磨きをして頂くように口腔ケアの支援をおこなっている。必要のある方は歯科医と連携し定期的なケアを行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い失敗を減らす支援をしている。失敗のない方は布パンツに変更している。排泄支援や自立に向けた取り組みを行っている。	排泄のチェック表を用いて、トイレでの排泄ができるように時間での誘導や声掛けを行い失敗を減らす支援をしている。失敗のない方は布パンツに変更している。排泄支援や自立に向けた取り組みを行っている。	排泄支援には力をいれ、入所時リハビリパンツを使用されていた方も布パンツに変更を促していました。本人のプライバシーを守りつつ自立排泄に取り組んでいました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルトや乳製品、水分摂取を促している、毎日の散歩や運動で自然排便を心掛けている。	ヤクルトや乳製品、水分摂取を促している、毎日の散歩や運動で自然排便を心掛けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めておらず、ご本人の希望や体調に配慮し入浴できるように支援している。	入浴日は決めておらず、ご本人の希望や体調に配慮し入浴できるように支援している。	入浴は曜日は決めてなく、本人と話し合いながら週2・3回の支援を行っています。同性介助を検討されていますが、利用者の男女比等で職員体制が取れないこともあるため、本人と確認しながら介助が行われていました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠ができるように、日中は外気浴や散歩を行い活動的に過ごせるよう支援している。	安眠ができるように、日中は外気浴や散歩を行い活動的に過ごせるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

事業所名

ツクイ甲府富士見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(雅)	ユニット名(華やぎ)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の花薬局と連携している。薬は薬剤師にセットしていただいている。不明な点はすぐに薬剤師に相談確認をしている。職員は薬状を確認している。	薬の花薬局と連携している。薬は薬剤師にセットしていただいている。不明な点はすぐに薬剤師に相談確認をしている。職員は薬状を確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のできる事、好きだったこと、得意なことができるように職員がサポートしています。生け花や花の手入れ、裁縫などをしていただいている。散歩や日常の役割を担っていただいている。	個々のできる事、好きだったこと、得意なことができるように職員がサポートしています。生け花や花の手入れ、裁縫などをしていただいている。散歩や日常の役割を担っていただいている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩にでかけている。外に出かけたいときには、職員が付き添い出かけている。コロナウイルス感染防止のため制限が多くなっている。	散歩やテラスで日光浴をしお茶会をしている。外に出かけたいときには、職員が付き添い出かけている。コロナウイルス感染防止のため制限が多くなっている。	雨降り以外は外に出て外気浴を行っています。特に天気の良い日は堤防沿いの土手の遊歩道に出かけ自然豊かな環境を楽しむ暮らしが提供されていました。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけなくなっています。買い物のご希望があった場合は、ご家族に承諾を経て事業所立替で購入している。	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけなくなっています。買い物のご希望があった場合は、ご家族に承諾を経て事業所立替で購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	知人のかたからのお手紙をお届けしたり、ご家族からの電話をつなぎお話ししていただいている。	知人のかたからのお手紙をお届けしたり、ご家族からの電話をつなぎお話ししていただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中は居室で過ごされる方はおらず、フロアで過ごされています。景色を眺めいただけるようテーブルは窓の近くに設置しております。テレビの前にはソファを置き居心地のよい環境につとめている。	日中は居室で過ごされる方はおらず、フロアで過ごされています。景色を眺めいただけるようテーブルは窓の近くに設置しております。テレビの前にはソファを置き居心地のよい環境につとめている。	共有空間のフロアは窓際にソファを設置し景観が楽しめるようになっています。フロアには、季節感を楽しめるよう、正月飾り、雛人形などを飾る工夫がされていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配慮を行い、会話を楽しまれたり、TVを見たり、おひとりで趣味の時間を楽しまれています。	席の配慮を行い、会話を楽しまれたり、TVを見たり、おひとりで趣味の時間を楽しまれています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたものやなじみ深いものを入居時に持参していただいている。ご家族様からのプレゼントや写真を配置し、居心地よく過ごして頂けるようにしている。	ご自宅で使用していたものやなじみ深いものを入居時に持参していただいている。ご家族様からのプレゼントや写真を配置し、居心地よく過ごして頂けるようにしている。	今までの生活を大切にされています。今まで使っていた身近な家具やご飯茶わん、汁椀、お箸、湯飲みを持ってきていただいていた。家族からの写真やプレゼントも飾られていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリー。IHの使用ですので火の元の心配はない。手すりは廊下やトイレ玄関お風呂など各場所に設置されている。居室には表札もあり迷うことなく行き来ができるようになっている。	建物全体がバリアフリー。IHの使用ですので火の元の心配はない。手すりは廊下やトイレ玄関お風呂など各場所に設置されている。居室には表札もあり迷うことなく行き来ができるようになっている。		